

宮城県障害者技能競技大会

《 製品パッキング種目 競技課題 》

1. 製品パッキング競技とは

商品を梱包するための箱や緩衝材の組み立てと、それぞれの組み込みを行う競技です。

2. 競技課題について

課題	内 容	作成数	競技時間
1	緩衝材の作成・結束	20セット（4束）	30分
2	商品を入れる箱の作成と梱包作業	3梱包（3箱）	50分

※ 課題1で作成した緩衝材（完成品）は課題2で使用します。

※ 宮城大会では商品の箱詰めを省いています。

※ 説明図の折りかたは一例です。他の折りかたや手順でも、品質に影響がなければ、審査の減点対象にはなりません。

3. 競技のながれ

競技全体の説明	5分
---------	----

※ 競技当日に練習する時間は設けていません



課題 1	説明	5分
	材料の確認・準備（各自）	5分
	競技	30分



休 憩	※ 課題1 審査・採点	35分
-----	-------------	-----



課題 2	説明	5分
	材料の確認・準備（各自）	10分
	競技	50分

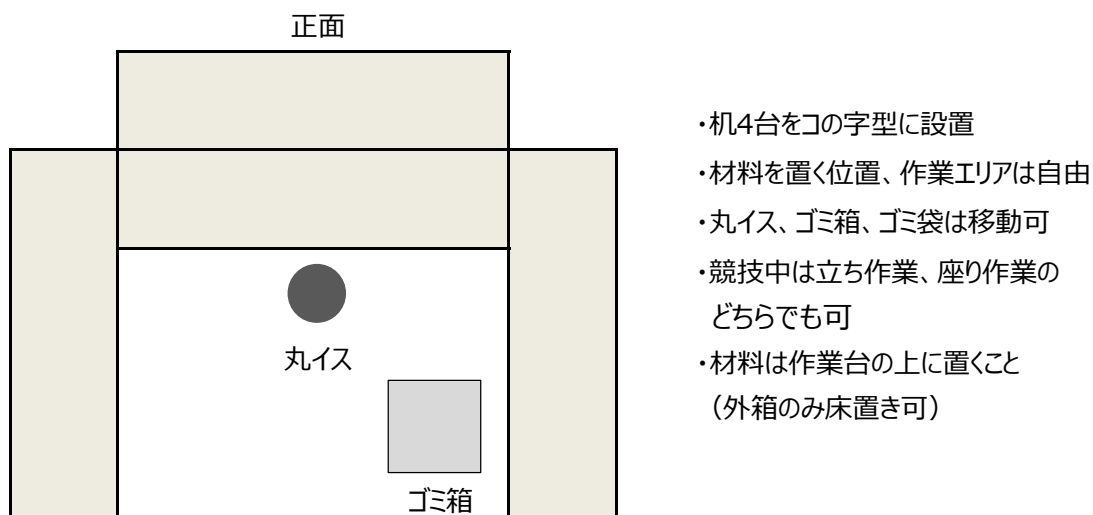
4. 競技時の服装

- 1) 手袋を着用
- 2) 作業着や運動着などの動きやすいもの（スカートや短パン、スリッパやサンダルなどは不向き）
- 3) 指輪、ピアスなどの装飾品は外す、または持ち込まない

5. 選手が用意するもの

- 1) 手袋 2双（予備1双を含む）
- 2) 飲み物（熱中症対策） ※競技中は作業する机の上に置かないこと

6. 競技レイアウト



7. 審査の主なポイント（課題作成の詳細は競技課題の説明図を参照）

課題 1 緩衝材の作成・結束

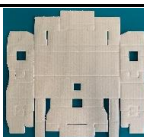
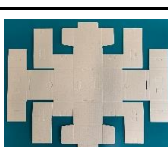
①	制限時間と作業スピード	・ 30分以内に20セット（4束）作成
②	緩衝材の向き	・ 説明図通りの向きに揃える
③	結束の品質	・ 結び目の大きさ：8cm以内 ・ 緩衝材の端から結束までの間隔：10cm以内 ・ ひもを持ち上げたとき、ひもと製品の間隔：5cm以内
④	外観の品質	・ しわ、やぶれ、キズ、汚れ、へこみ、ゆがみがない
⑤	材料・作成品の置き場所	・ 作業机上に置く ・ 床への落下がない

課題 2 商品を入れる箱の作成と梱包作業

①	制限時間	・ 50分以内に3梱包（3箱）作成
②	外観の品質	・ しわ、やぶれ、キズ、汚れ、へこみ、ゆがみがない
③	緩衝材、箱の組み込みの向き	・ 説明図通りの向きに揃える
④	OPPテープの貼り付け	・ 説明図通りの貼り位置、長さ ・ しわや浮きがない
⑤	材料・作成品の置き場所	・ 床に直置きしない（外箱のみ可） ・ 床への落下がない
⑥	清掃	・ 終了時、型抜きのかずや紐、ごみが作業机の上や床に落ちていない

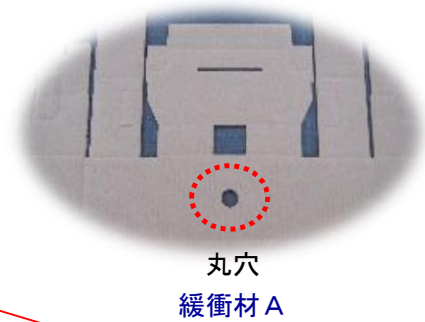
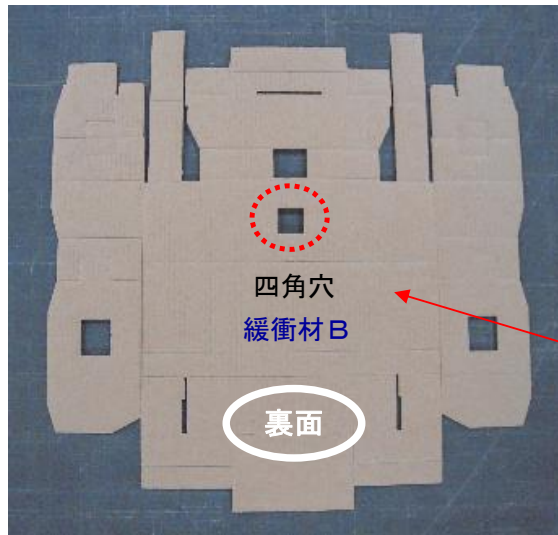
8. 競技資材について

競技時、作業エリアに準備されているものは以下のとおり。

課題	材 料		数量	単位	備 考
1	緩衝材A（○）		20	枚	
	緩衝材B（□）		20	枚	
	結束用ひも		1	巻	
	くちばし型カッター		1	本	
2	外箱		3	枚	
	小箱		12	枚	
	中箱		12	枚	型抜き前のもの （写真は型抜き後）
	化粧箱 身		12	枚	型抜き前のもの （写真は型抜き後）
	化粧箱 フタ		12	枚	型抜き前のもの （写真は型抜き後）
	OPPテープ		1	巻	テープカッター付き
	敷き紙		1	枚	床に敷き、完成品を乗せる
共通	ごみ箱		1	箱	型抜きくずなどの紙ごみを入れる
	ごみ袋	透明ビニール袋	1	袋	結束用ひも、OPPテープなどのくずを入れる

きょうぎ か だい かんしやうざい くみたて けっそく
【競技課題 1】 緩衝材の組立・結束

てん かい ず
展 開 図



※緩衝材は**2種類**あります

※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

かん せい ず
完 成 図

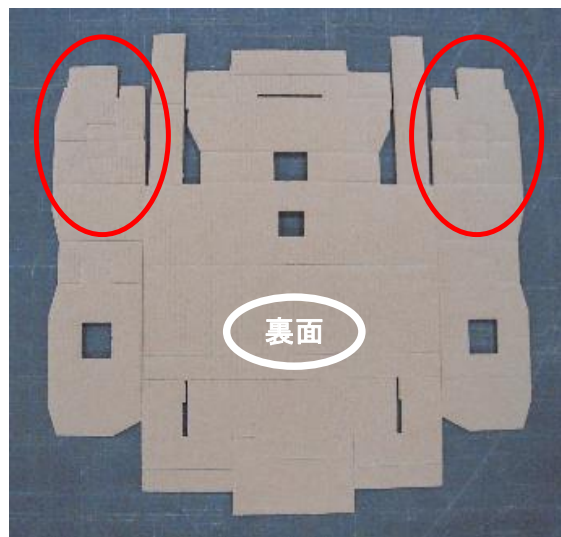


組立完成図

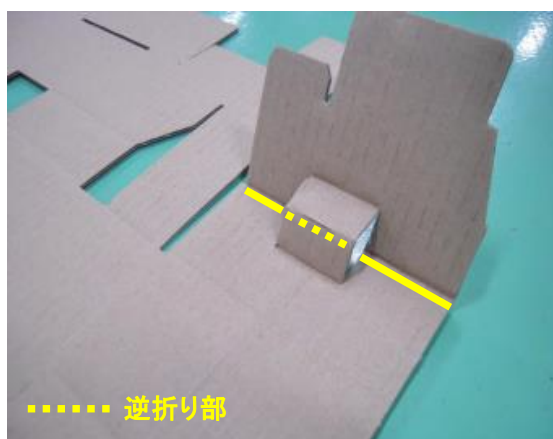


結束完成図

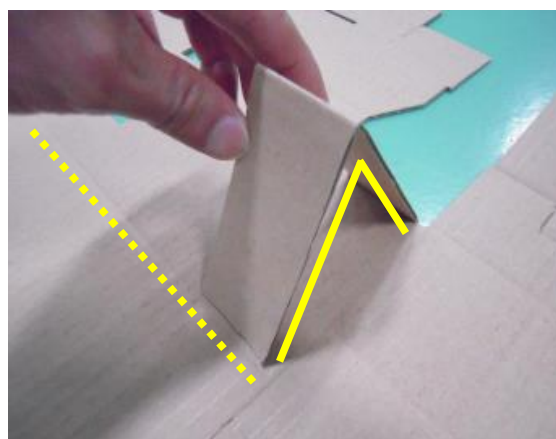
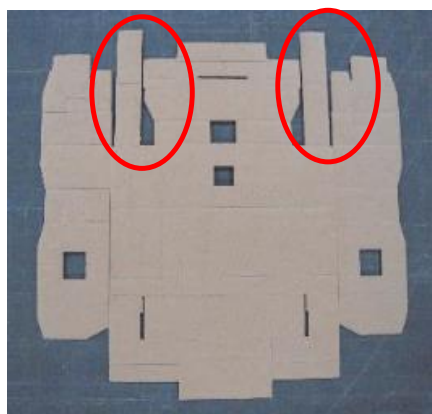
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
 折り方は共通です。(写真は緩衝材B)
 緩衝材の裏面を上にし折ります。
 最初に○印の箇所から折ります。



2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。



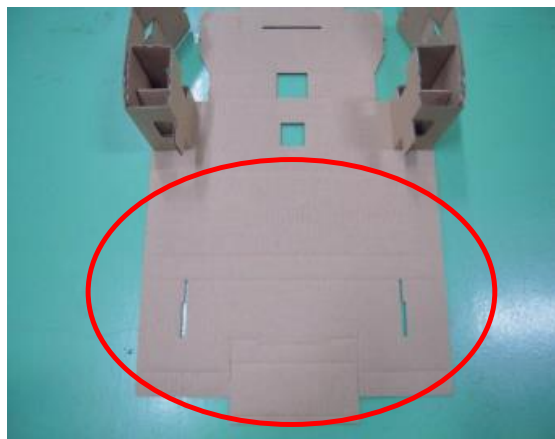
3. ○部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
 三角をつくる。



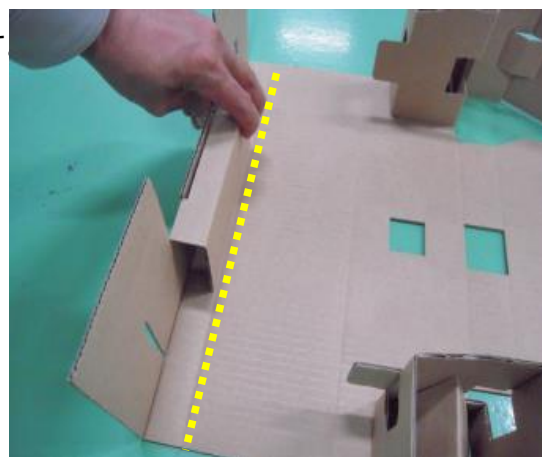
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



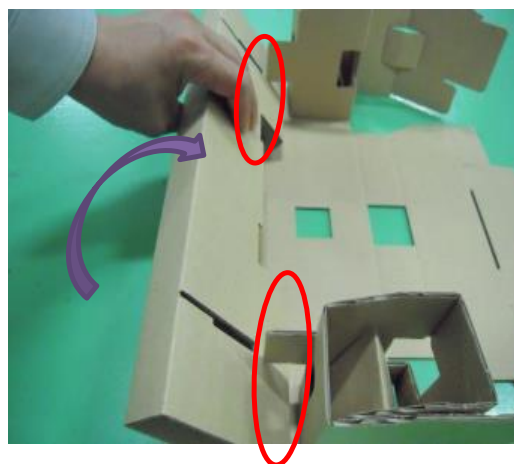
5. ○で囲んだ部分を折ります。



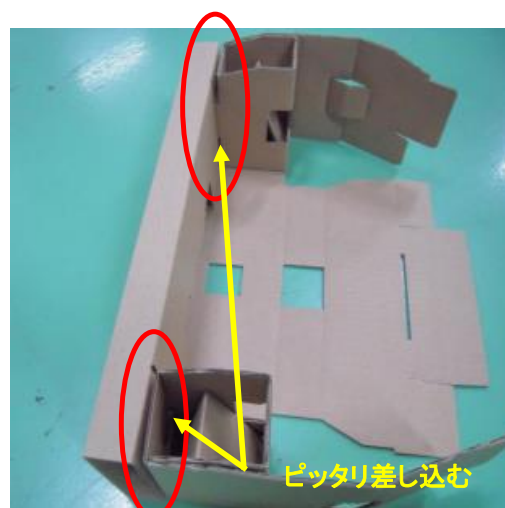
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります



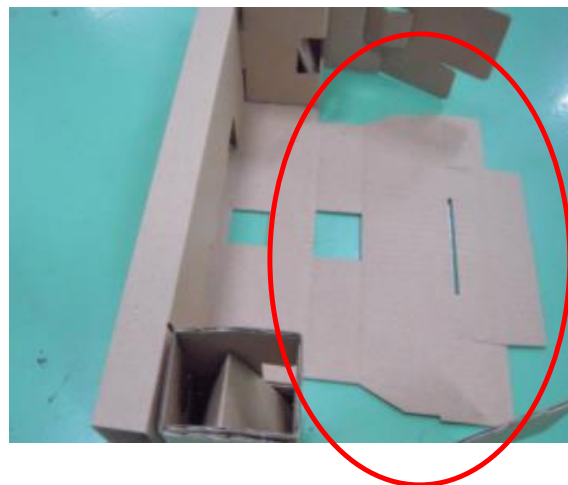
7. ^{りょうはしせんたんぶ}両端先端部を^お折り込み、^こ全体を^{ぜんたい}矢印方向に^{やじるし ほうこう}立ち上げながら^{た あ お こ}折り込む。



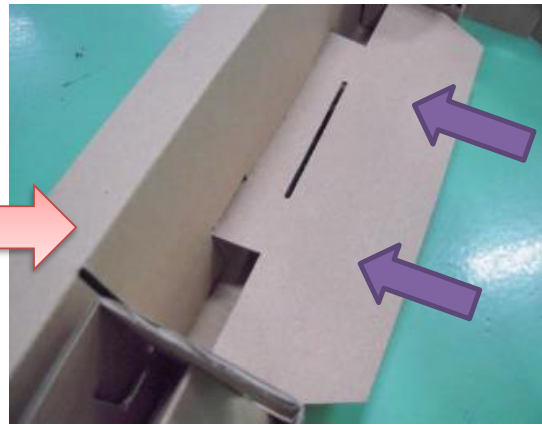
8. ^{あな}穴部に^{そでぶぶん}袖部分の^{とつぶぶん}凸部分を^{さしこみ}差し込ながら^{ぜんたい}全体を^{た あ お こ}立ち上げ折り込む。



9. ○で^{かこ}囲んだ^{ぶぶん}部分を^お折ります。



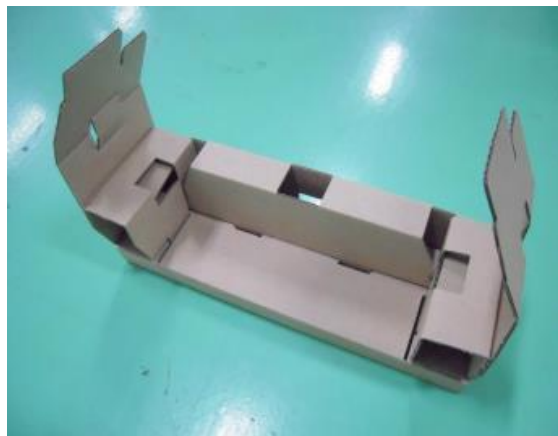
10. 先端部^{せんたんぶ}3か所^{しよ お}を折りながら矢印^{やじるし ほうこう}方向に折り込む。



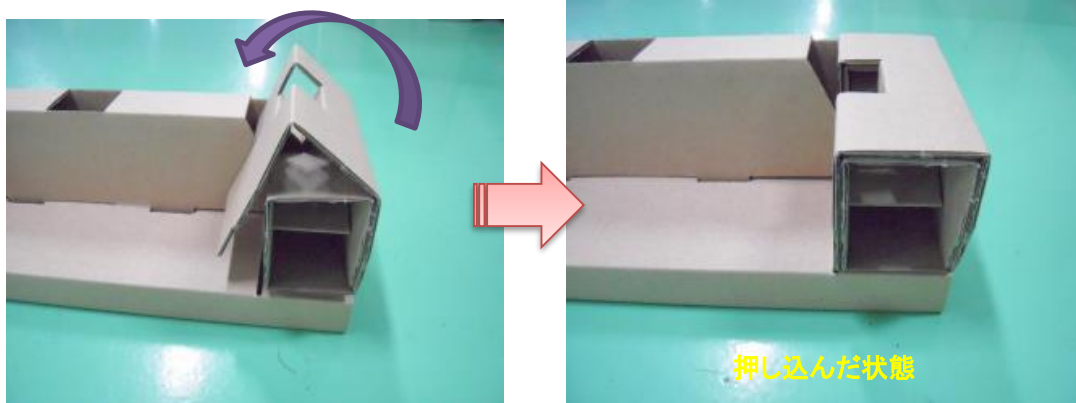
11. 全体^{ぜんたい}を折り込み、本体^{ほんたい}にピッタリとお^お押し込む。



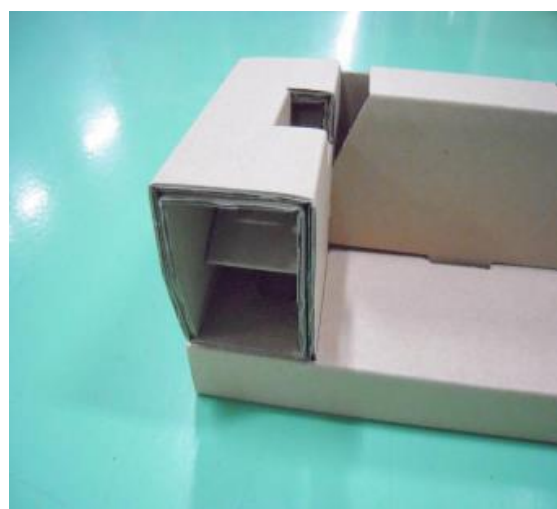
12. 袖部^{そでぶ}が上^{うへ}にくるように向き^むを変^かえる。



13. 袖部を罫線に合わせて折り込み、先端部を本体に差し込む。



14. 反対側も同様に、本体に差し込む。



15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。



16. ^{さぎょうだい}作業台に^{けっそくひも}結束紐を可能な限り直線に置く。

【結束紐】信越工業 SKテープNo.70



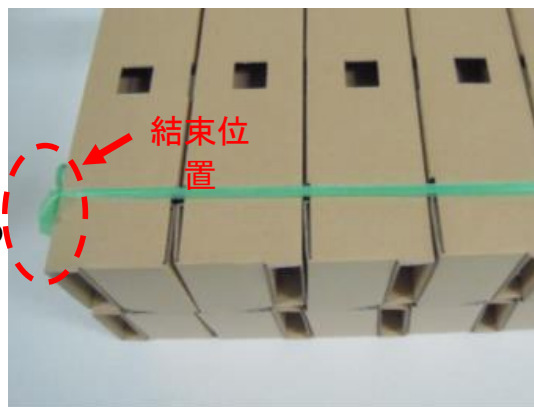
17. ^{せっち}設置した^{けっそくひも}結束紐の上に^{うえ}緩衝材5ヶを^{かんしょうざい}緩衝材が端側位置にくるように置く。
^お置く際は^{けっそくひも}○穴が^{はしがわい}下にくるように置く。
^おさい^{あな}は^{した}○穴が^お下にくるように置く。



18. 17で置いた^{かんしょうざい}緩衝材と異なる^{こと}緩衝材^{かんしょうざい} (○穴であれば□穴、□穴であれば○穴)を^{あな}5ヶ、^{あな}穴が^{あな}上にくるように^{あな}置く。



19. 緩衝材の端から10cm以内の角で
結束する。結び方は自由。
ただし、8cm以内の結び目で容易に
解く事が可能な結び方にする。
また、紐を持ち上げたとき、製品と紐の
間隔が5cm以内になるようにする。
- ※課題2では、自ら作成した製品の
紐を解いて使用します。



20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の
端にくるように設置する。



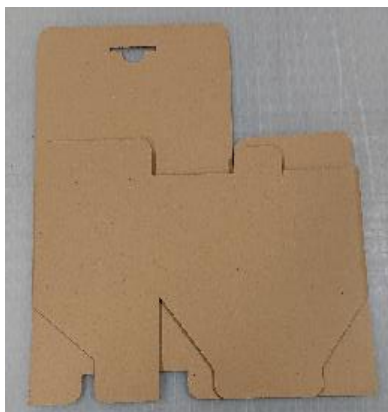
21. 緩衝材の角で結束し完成。



※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、
縦に置いた状態での結束でもOKです。

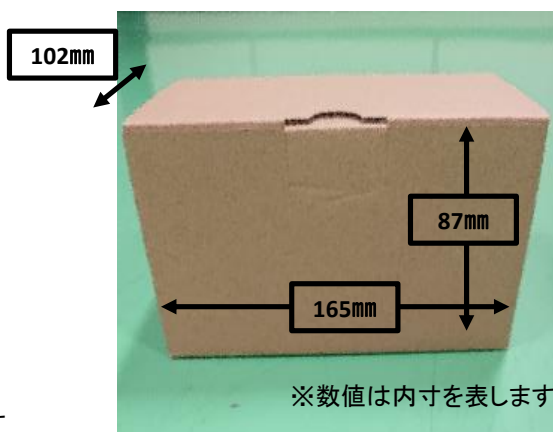
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（1）

こ 小 箱 展 開 図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります

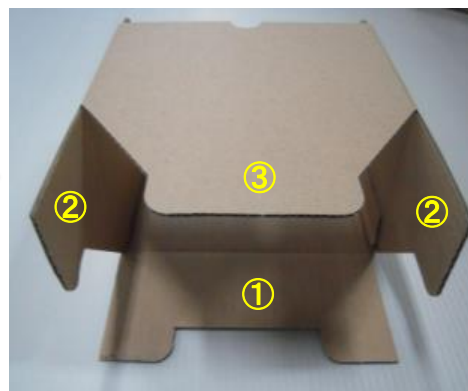
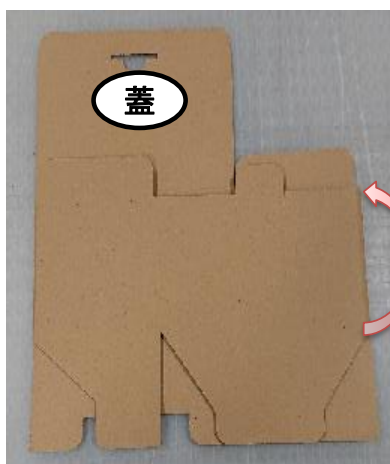
こ 小 箱 完 成 図



※数値は内寸を表します

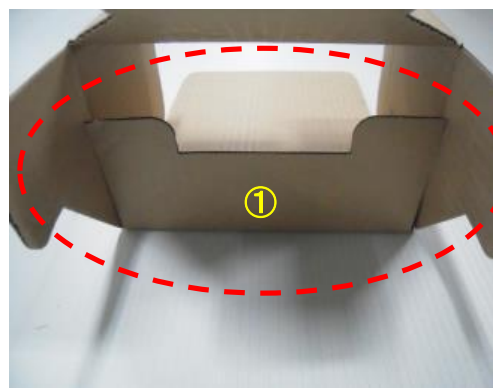
※ロック部分が追加になりました

1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。

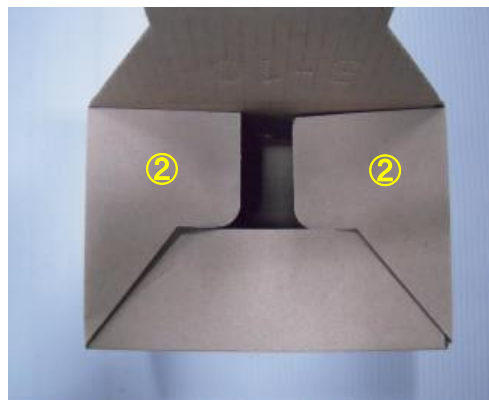


本体を立ち上げた状

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。



3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



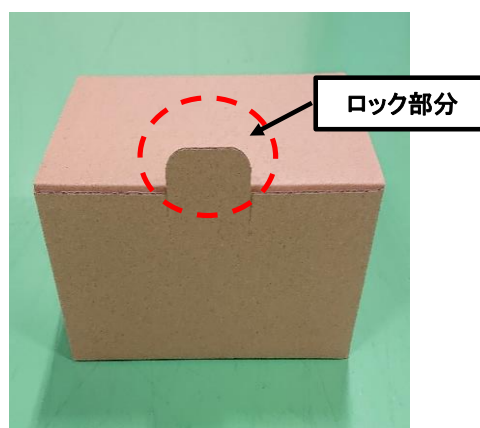
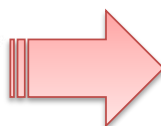
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。



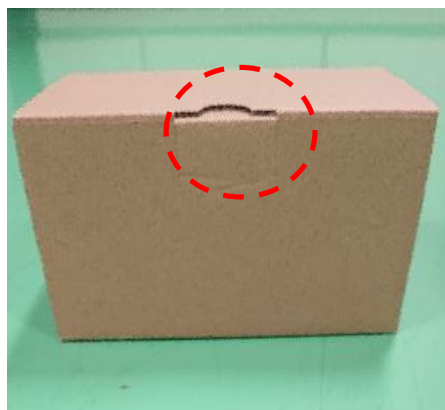
5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。
商品を入れた後、内フラップ2か所を内側に折り
蓋をする。



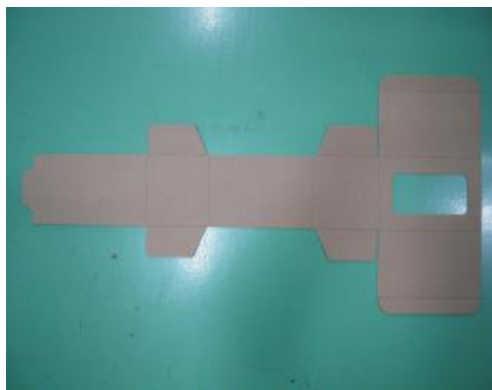
※商品の向きは審査対象外です



6. 最後にロック部分を挿入し完成。



なか はこ てん かい ず
中 箱 展 開 図

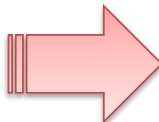
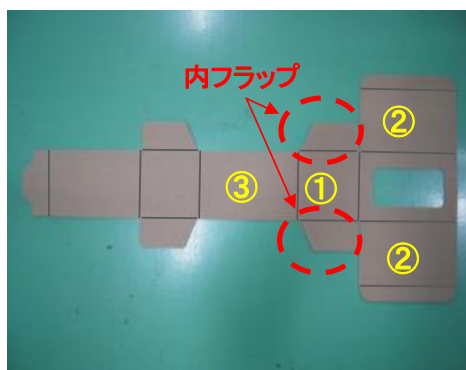


なか はこ かん せい ず
中 箱 完 成 図



※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

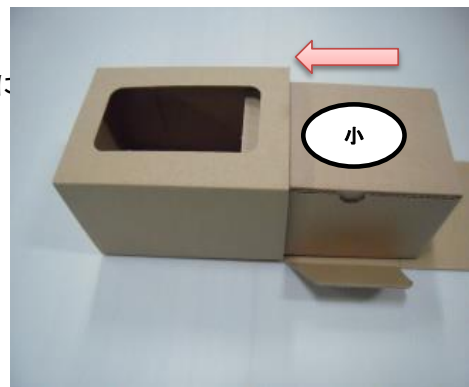
6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折り
その後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



7. ③の部分を罫線(折れ線)に沿って折り、
③の部分を下に向きを変える。



8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
 その際、中箱の穴から小箱の底が見えないように
 小箱の向きに注意する。



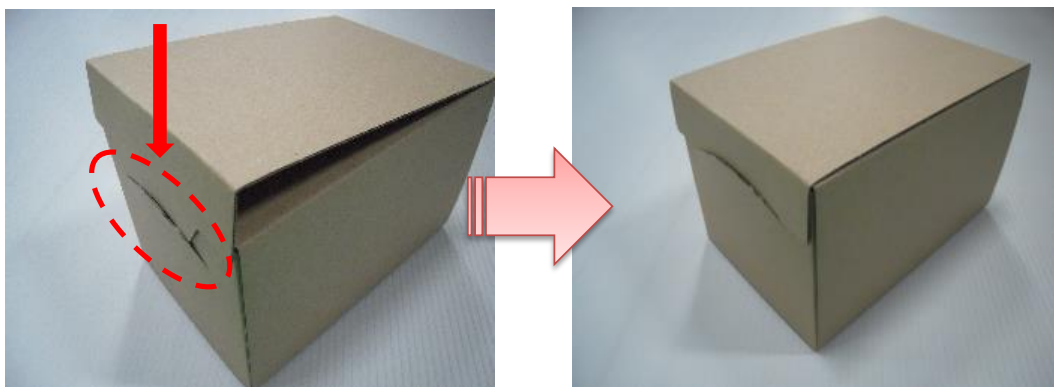
9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に
 折り込む。



10. 中箱の天面を本体に向かって折る。

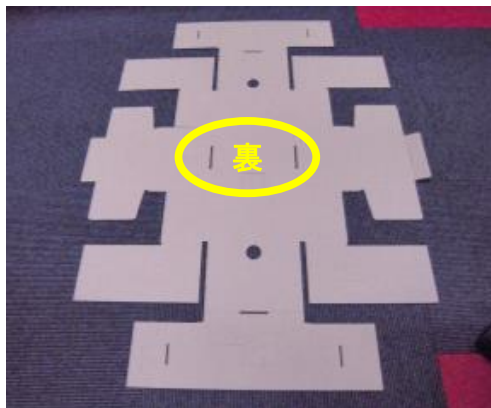


11. 最後に天面先端の差込部を本体の
切れ込み部に挿入し完成。



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（2）

化粧箱身展開図

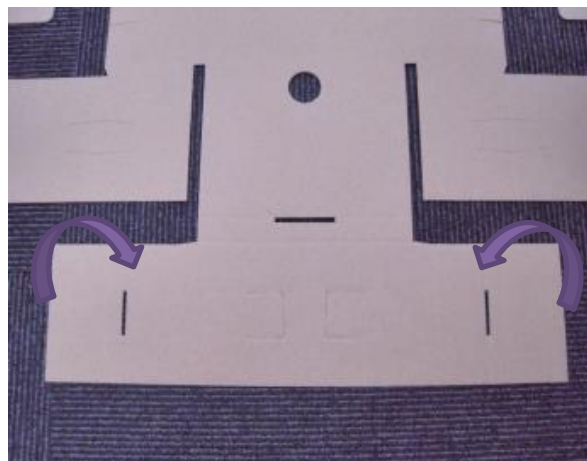
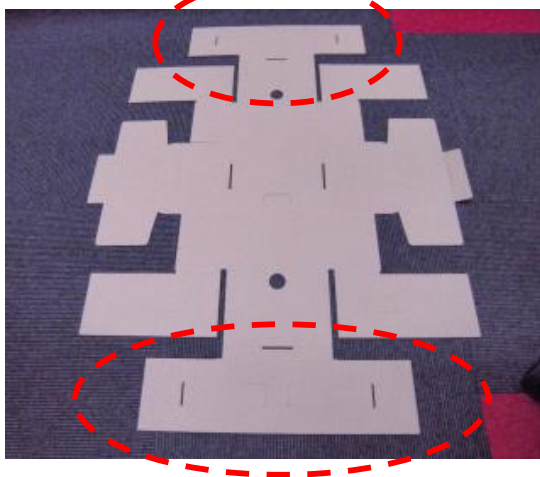


化粧箱身完成図

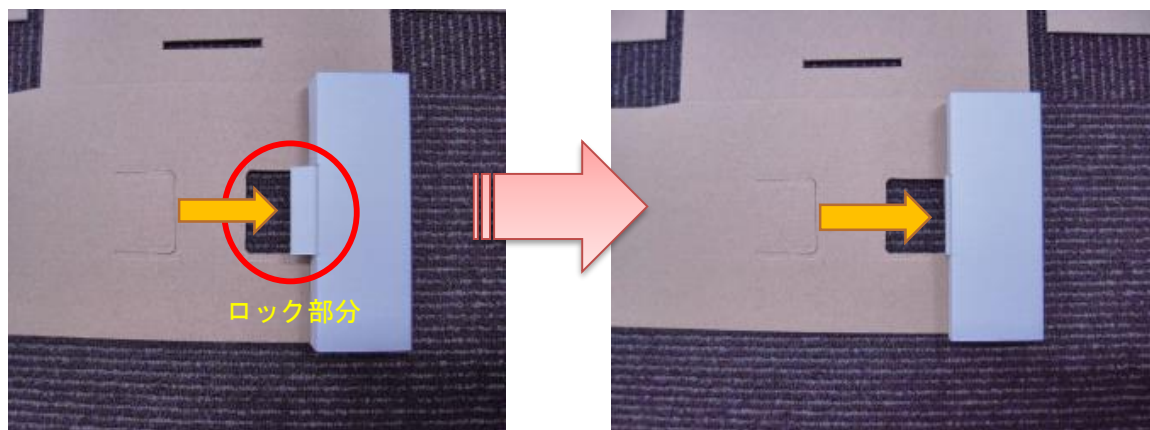


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

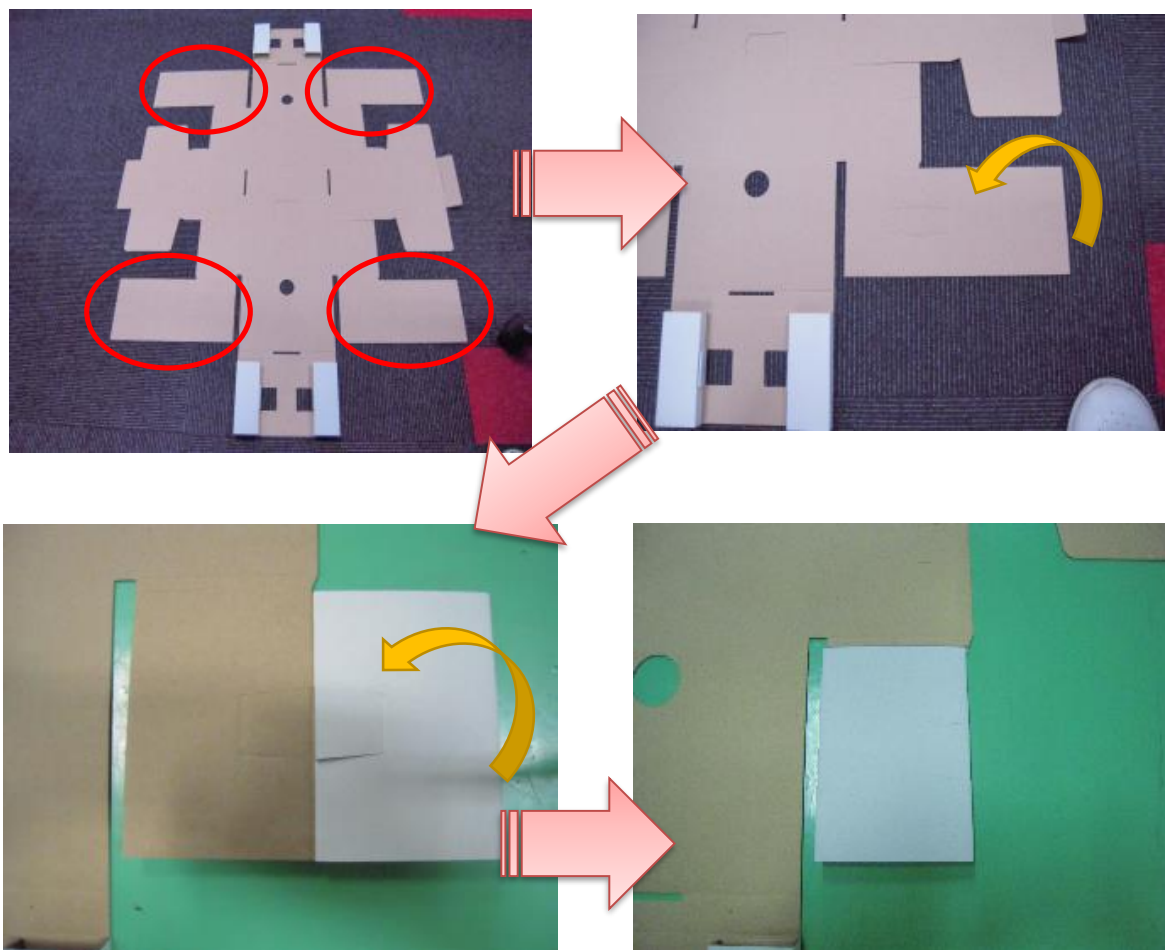
1. はじめに丸印の部分から折ります。
端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ
折る。



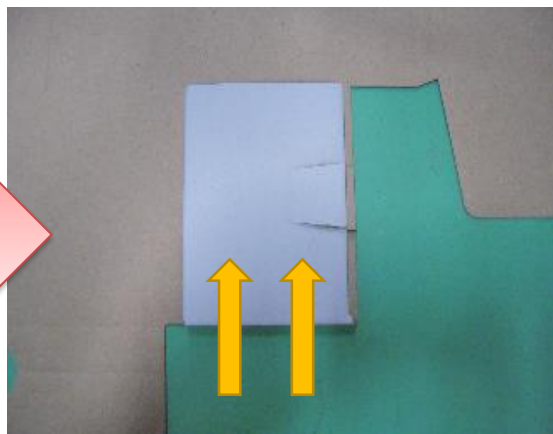
2. 折った部分の穴に、ロック部を^お下から^{ぶぶん}立ち上げ^{あな}差し込む。
これを計4か所、同様に折る。



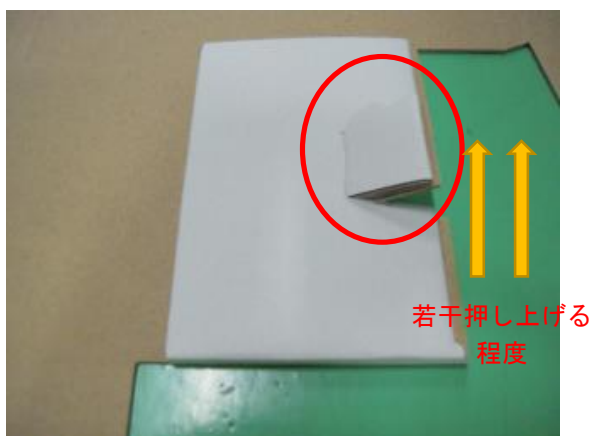
3. 丸印の部分を端から罫線に合わせ内側に^{まるじるし}折る。
^{ぶぶん}折る。



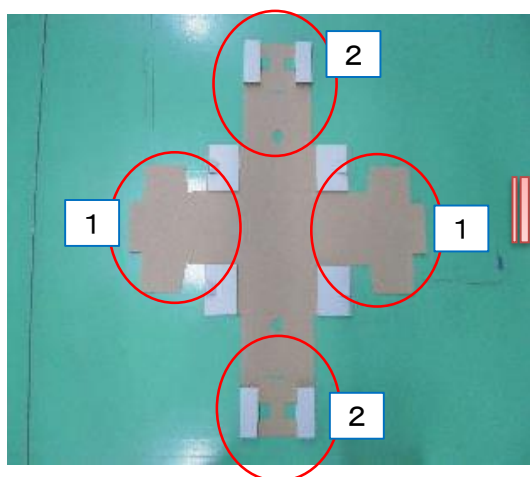
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。



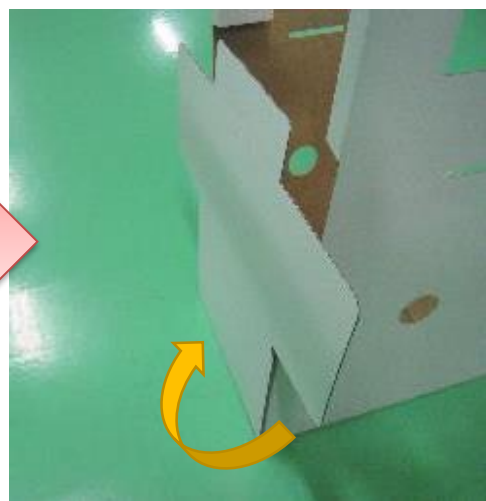
5. ロック部分を下から押し上げロックする。
これを各部、計4か所同様に折る。



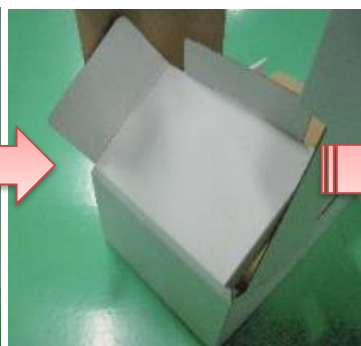
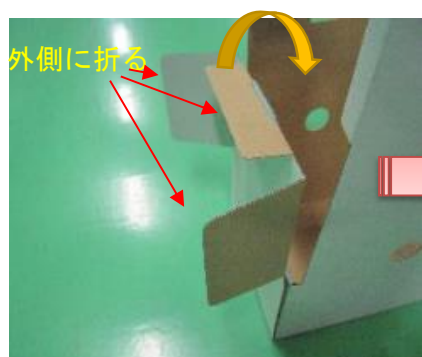
6. 2の部分を持ち上げる。



7. フラップ部分を^{ぶぶん}内側に^{うちがわ}折り、1の部分を^{ぶぶん}立ち^た上げる。



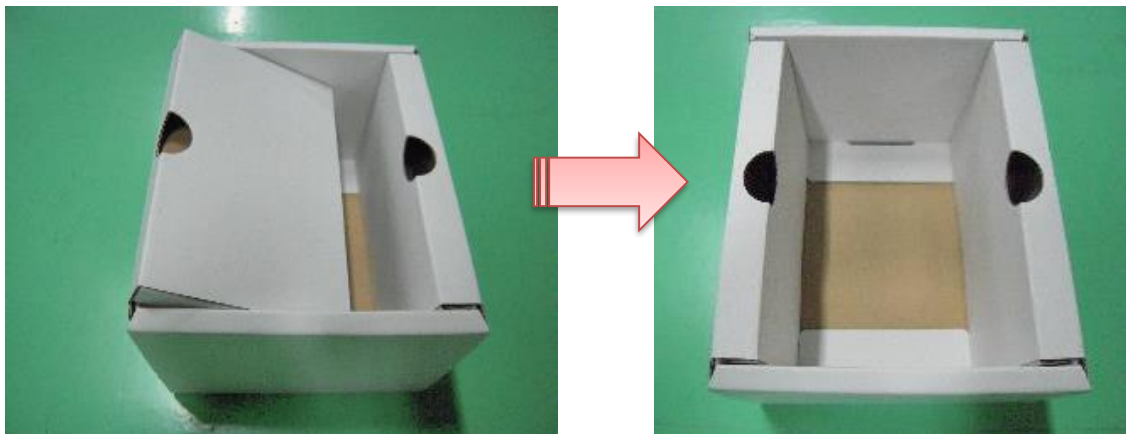
8. 1の部分の先端を^{ぶぶん}外側に^{せんたん}3か所^{そとがわ}折り、^{しよ}本体^お内側に^{ほんたい}折り込む。反対側も同様に折る。



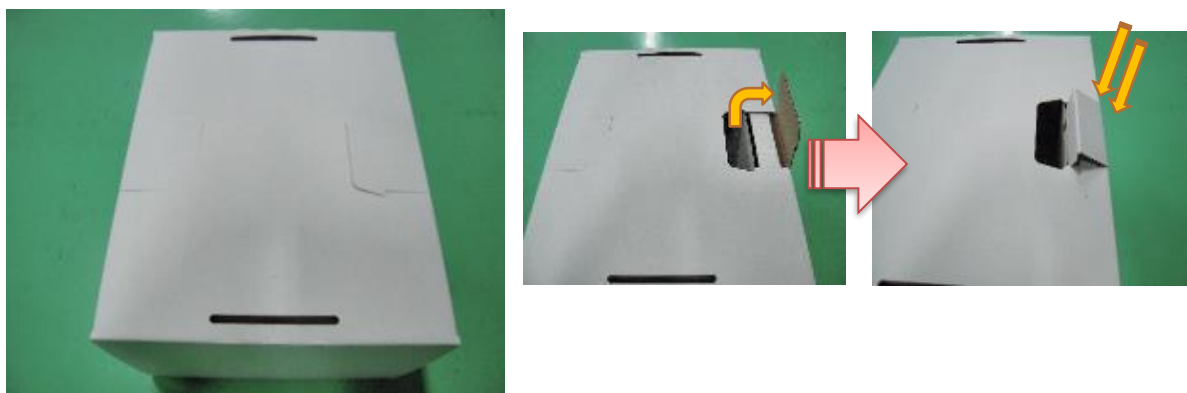
9. 2の端の部分から^{はし}罫線^{ぶぶん}に^{けいせん}合わせ^あ折り、^お額の部分が^{がく}平らになるまで中に^{ぶぶん}折り込む。



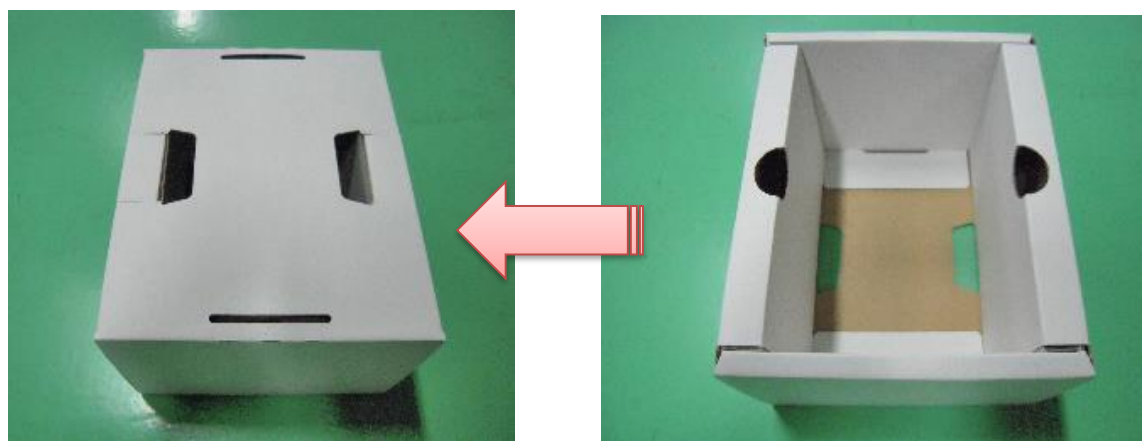
10. 反対側も同様に折る。
はんたい がわ どうよう お



11. 裏(下)側を上にし、ロック部分を裏側から
うら した がわ うえ
 押し出し、2の穴に挿入する。
お だ あな そうにゆう
 反対側も同様に穴に挿入する。
はんたい がわ どうよう あな そうにゆう

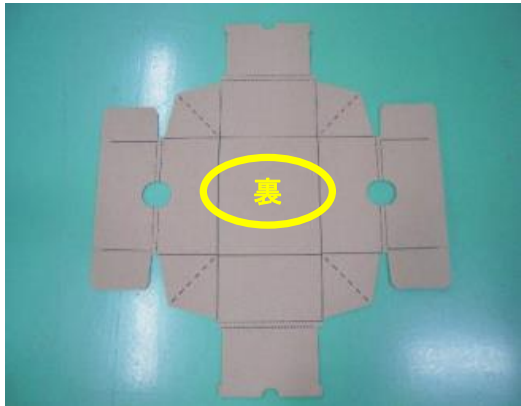


12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に
しよ でき そこ ぶ した
 向きを変え完成。
む か かんせい



【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（3）

化粧箱蓋展開図

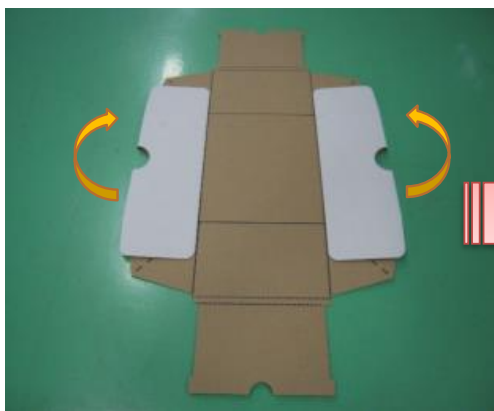


化粧箱蓋完成図

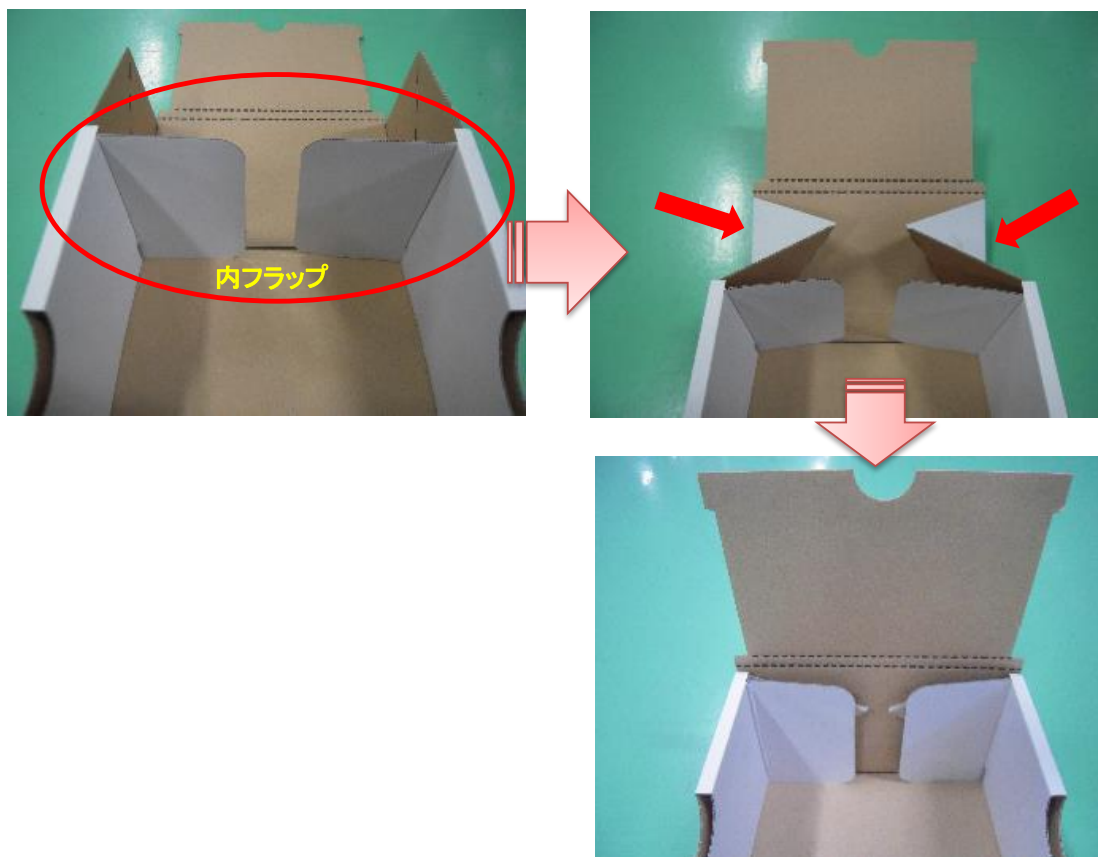


※罫線(折れ線)が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業
が必要となります

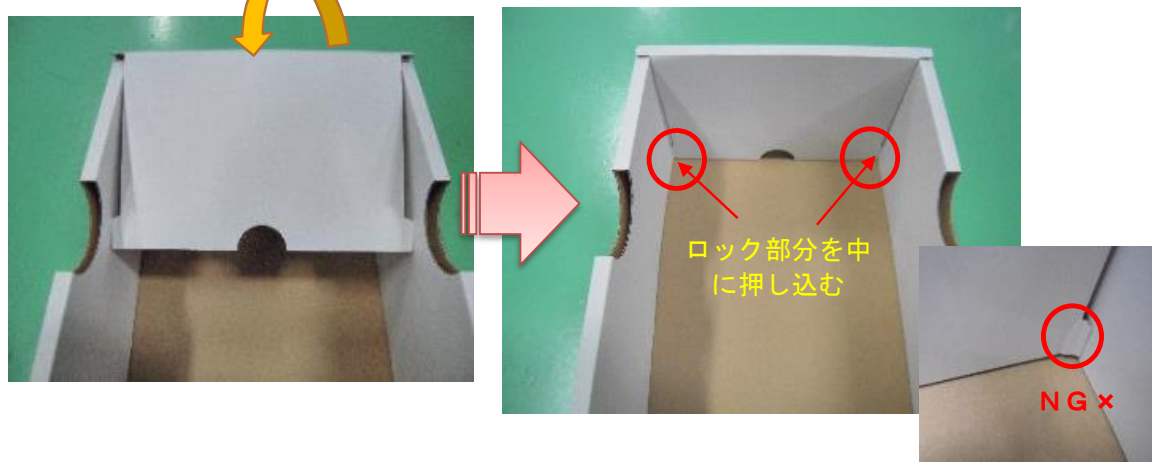
1. 額部分を内側に折り、額部分全体を
立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。
 その後、外側フラップのミシン目を
 内側に折りながら、側面を立ち上げる。



3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を
 中に押し込む。

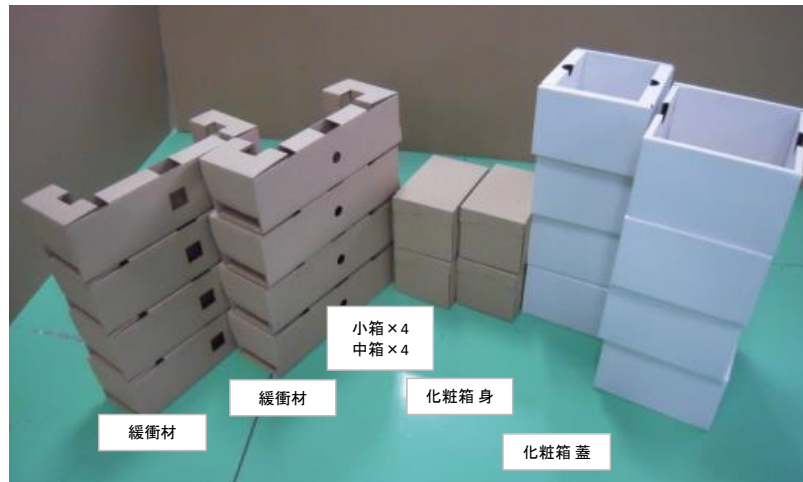


4. 反対側も同様に折り完成。
はんたい がわ どうよう お かんせい



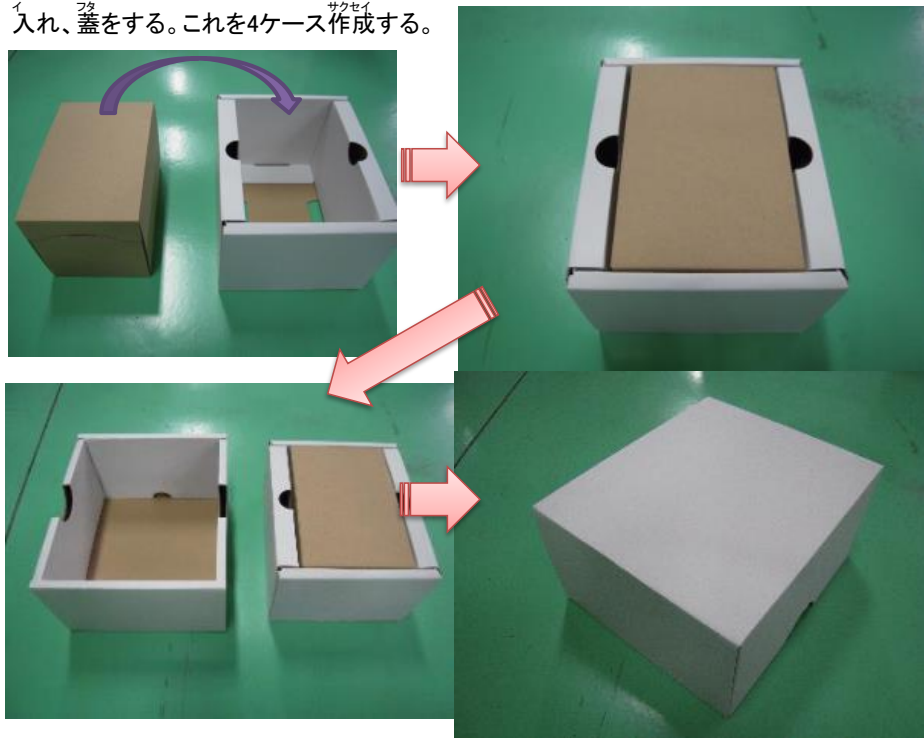
【競技課題2】 小箱・中箱・化粧箱・
外箱の組立・セットアップ梱包（4）

梱包部品一覧



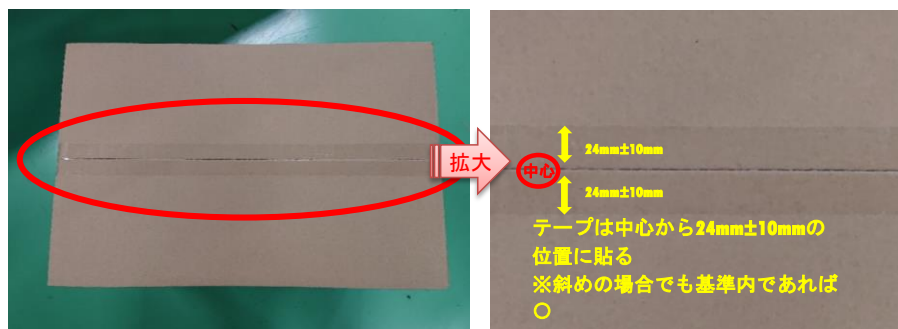
※上記部品を外箱にセットアップし梱包します
 ※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用します

1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を
 入れ、蓋をする。これを4ケース作成する。



2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① 外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

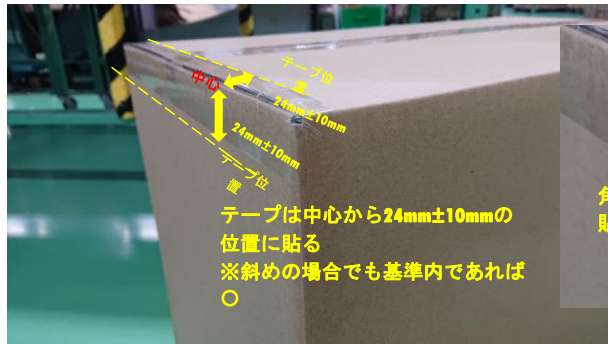
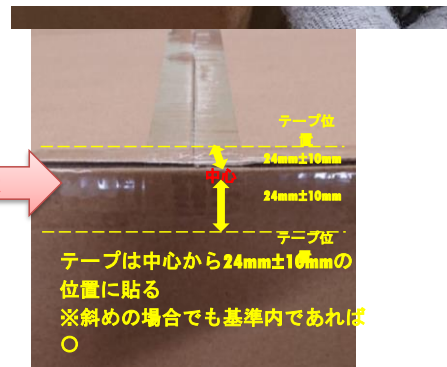


② 外箱の側面側を包装テープで貼る





拡大



3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または口が外側になるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。



3. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うように
それぞれ設置する。



4. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く

※上部はテープを貼りません



※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置く事
※敷き紙には製品以外の物を置く事は出来ません
※写真は4ケースですが、今大会は3ケースとなります